

## 編集後記

- 120名の多くの方の参加を戴いた設立総会(2009年5月30日)と記念講演会から早くも1年が経過しました。若狭会長の予期せぬ骨折などのトラブルがあり、その間会務が停滞したことをお詫びいたします。幸い会長も心身共に健康になられ元気な姿を我々に見せて戴きました。
- 当面は会員を中心とした研究発表や実施探索の例会活動を中心に会運営を進めます。6月19日は会員の丸谷憲二氏が備前市伊里公民館での講演を支援しサポートして研鑽を深めました。もう一つの柱である「機関誌」発行は有志による編集委員会を開催し、多くの会員の投稿・寄稿を戴きながら例会活動を補完させて参ります。
- 機関誌の名称は当面、「仮称“きび”考」として進めますが、暫時皆様からのご意向を集約して後日正式名称を決めることになりました。若狭会長からA案＝蝸牛(かたつむり) B案＝歩み(あゆみ)の提案ありましたので紹介します。参考にして下さい。仮称“きび”考の意図は「先史」「古代」に限定せず、有史(歴史)・民族学・考古学並びに皆様の多様な分野の研究・実践活動の発表の「場」としたい気持です。当然エッセイや紀行文など掲載したいと念じています。寄稿文は随時事務局で受付けています。広い意味で「設立宣言」に沿う内容を期待しています。
- 今回は記念講演と基調講演の収録記事を中心に掲載しました。1年前を思い出しながら通読して頂き感想などを戴ければ、次回からの参考にさせていただきます。最後に会員の皆様のご健勝と益々の研究・研鑽を期待しております。

仮称“きび”考 創刊号 2010年(平成22)7月1日発行

編集委員 延原勝志 井上秀男 樋口俊介 本松一郎 山崎泰二

発行 日本先史古代研究会

会長 若狭哲六 岡山県備前市東片上 771

事務局 岡山県岡山市中区桑野 504-1 山崎泰二方

電話＝086-276-6654 メール＝top@bosaisystem.co.jp

FAX＝086-276-2241